

問 公共事業の入札についてこれまで新聞等であらぬうわさが報道されることがあった。この際、市民の信頼をこれまでに以上に高めるためにも、入札監視委員会等の導入を検討してはどうか。

答 業者の指名等については法令等により市長の専権事項であり、職員は規則に基づき忠実に職務を遂行している。入札監視委員会等の設置については、事件等があった市町村等において導入されているものと市では解釈している。

問 本年に入り、小峰城跡等が国指定の史跡に認定されるなど歴史ある白河が認められた。しかし、市内には国指定等とはならないが歴史があり珍しい文化財も点在している。これらを目的別のコース等にして、県外からの観光客へPRしてはどうか。

答 商工観光課、文化財を管理している文化財課、公園などを管理している都市計画課、そして本年できた観光物産協会等と垣根を越えて検討会を重ねている。指摘事項についても検討していきたい。

問 生活道路の積極的整備について

答 生活道路においては、子供から大人まで、買い物や近所同士の触れ合いや交流の場など、すべての人が毎日の生活の中で必ず利用する最も身近な施設であり、豊かな白河市を築き、次世代へ引き継ぐべき財産であると考えている。しかしながら、市の管理する道路は、総計が大変長く、砂利道などの未整備道路や狭隘で段差のある歩道、老朽化し満足のいく水準ではないものと認識している。

問 このため、地元の声に耳を傾け、地域の実情を把握し、緊急性、安全性、経済性、地元の合意形成などの観点から優先順位を総合的に勘案しながら、積極的に生活道路の整備に努めてまいりたい。

答 大信中は市内でも古い学校の一つであり、学校施設全体の経過年数や老朽化の程度を十二分に検討し、財政見通しなども勘案しながら、少しでも長く使えるよう修繕等の維持管理を図るよう努める。

問 環境税の活用について

答 市内にベンチを設置し、高齢者や障がい者にやさしい街づくりをする取り組みとしてはどうか。また、間伐材を利用し町なかにベンチを設置するような事業の提案はできないか。

答 高齢者や障がい者にやさしいまちづくりに寄与するの で、積極的に取り組みたい。平成23年度森林環境交付金事業の対象として県に要望したい。

問 行政分譲地について

答 白鳥団地の案内板を新たに大きな看板にする考えは。色あせ目立たないため、内容、デザイン及び設置場所を見直し、早急に対応したい。



問 JRバス白棚線のバス路線維持に対する今後の取り組みについて

答 JR関東から、「白棚線はかつて鉄道が走っていた路線で、現存する全国でも珍しいバス専用道路である。専用道路を維持し運行を継続するための、白河市の協力をお願いしたい」との申し出があった。市としても市民生活の重要な幹線路線であり、路線維持の必要性を含め検討したい。

問 市民満足度調査事業・市民から信頼される行政経営の推進について

答 市政とは、そもそも市民生活の安定と向上を図ることを目的としており、そのためには、幾つかの条件を整備することが必要である。今回、

問 市民満足度調査事業・市民から信頼される行政経営の推進について

答 事業については、白河市及び西白河郡内の5市町村の広域的な範囲で、婚姻問題に取り組むことを目的に平成17年度から事業を展開している。これまで、男女合わせて100名程度のパーティー形式のイベントを14回実施している。

問 申請時における全体申請件数は249件で、白河地域104件、表郷地域47件、大信地域41件、東地域57件である。

問 出逢い&ふれあいの会創出事業について

答 申請時における全体申請件数は249件で、白河地域104件、表郷地域47件、大信地域41件、東地域57件である。

その一環として市民満足度調査を行い、市民の意識や行政に対する評価並びに情報の浸透度などを把握し、今後の市政運営に活用したい。

問 本市における戸別所得補償制度参加申し込み件数について

答 申請時における全体申請件数は249件で、白河地域104件、表郷地域47件、大信地域41件、東地域57件である。

問 出逢い&ふれあいの会創出事業について

答 事業については、白河市及び西白河郡内の5市町村の広域的な範囲で、婚姻問題に取り組むことを目的に平成17年度から事業を展開している。これまで、男女合わせて100名程度のパーティー形式のイベントを14回実施している。

出逢い&ふれあいの会

12月23日(祝)開催

11月1日(日)～30日(日)

12月23日(祝)開催

11月1日(日)～30日(日)

12月23日(祝)開催

11月1日(日)～30日(日)